

分散型エネルギーリソースの市場運用を担う新会社設立
～「E-F l o w合同会社」2023年4月から事業開始～

2023年1月23日
関西電力株式会社

当社は、100%子会社「E-F l o w合同会社」（以下、同社）を2023年4月に設立します。同社は、法人のお客さまが所有する分散型エネルギーリソース※¹（以下、分散型リソース）から得られる電気価値※²を活用し、お客さまに代わって最適な市場取引を行い、収益化を図ります。2030年度までに売上高300億円を目標に全国で事業を展開します。

当社はこれまでも、お客さまが保有する設備を仮想的に束ね、発電所と同等の役割を果たすVPP※³事業を推進してきました。

同社は、VPP事業に加えて、お客さまが保有する系統用蓄電池や再生可能エネルギー発電設備の電気についても、最適な市場や取引時間を選定し、運用する事業を新たに開始します。

これらの事業は、「分散型サービスプラットフォーム」※⁴を基盤としています。本プラットフォームは、これまでのVPP実証や各市場での実取引から得た、各種リソースの運用方法や市場ルール等に関する知見を反映したAIを搭載しています。これにより、多様な分散型リソースを一元管理し、最適な運用や市場取引を実現することで、電気価値を最大化します。

同社は、これらの事業を通じて、お客さまのゼロカーボンや電力需給の安定化に貢献します。

当社グループは、今後も引き続き、グループ一体となって、お客さまと社会のお役に立ち続けてまいります。

※1：お客さまが所有する太陽光発電等の再生可能エネルギーや蓄電池、電気自動車（EV）、生産設備等

※2：電力量（kWh）、供給力（kW）や調整力（ΔkW）などの価値

※3：Virtual Power Plant の略。お客さまの機器をIoT化して一括制御することにより、お客さま設備から捻出できる電気価値を有効活用し、あたかも一つの発電所（仮想発電所）のように機能させる仕組み

※4：分散型リソースの状況を把握し市場入札や制御等を行うシステム

以 上

添付資料：E-F l o w合同会社の概要
別 紙：E-F l o wの設立について

E－F l o w 合同会社の概要

1. 目標

V P P 事業、系統用蓄電池事業、再エネアグリゲーション事業の3事業に重点を置き、2030年度までに全国で分散型リソースの市場取引量250万kW、売上高300億円を目指します。

2. 事業内容

①お客さまが保有する設備を活用した取引事業（V P P 事業）

- ・お客さまが保有する様々な分散型リソースを束ね、電力量（kWh）、供給力（kW）や調整力（△kW）を市場で取引します。
- ・分散型リソースの特性に応じて最適な電力市場で取引することで、収益化を図ります。

②系統用蓄電池の運用受託事業（系統用蓄電池事業）

- ・お客さまが保有する系統用蓄電池の日々の市場入札・計画提出等を代行します。
- ・サイクル数※¹などに制約がある蓄電池を取引ノウハウ※²を反映したAIにより需給調整市場や卸電力取引市場で最も効果的に取引します。

※1：メーカーより性能保証を受けることができる充放電の回数

※2：VPPの取組みの中で培った多様なリソースの特性に対する知見や電力事業における電源運用、市場取引といった高度かつ専門的な知見

③再生可能エネルギーのアグリゲーション事業（再エネアグリ事業）

- ・お客さまが保有する再生可能エネルギー発電設備の日々の市場入札・計画提出等を代行します。
- ・天候等により発電量が変動する再生可能エネルギー発電設備のインバランスリスク※³を低減します。

※3：策定した発電計画や需要計画に対して、実際の運用においては発電や需要が計画どおりにならない場合があり、この差分を「インバランス」という。インバランスが発生した場合、再生可能エネルギー発電設備の所有者は一般送配電事業者に需給調整の対価としてインバランス料を支払う義務がある。

3. 会社概要

社名	E－F l o w 合同会社
所在地	大阪府大阪市中心区高麗橋三丁目1番6号
設立	2023年4月3日（予定）
資本金	3,000万円
資本構成	関西電力株式会社 100%



つながる、めぐる、とどける。

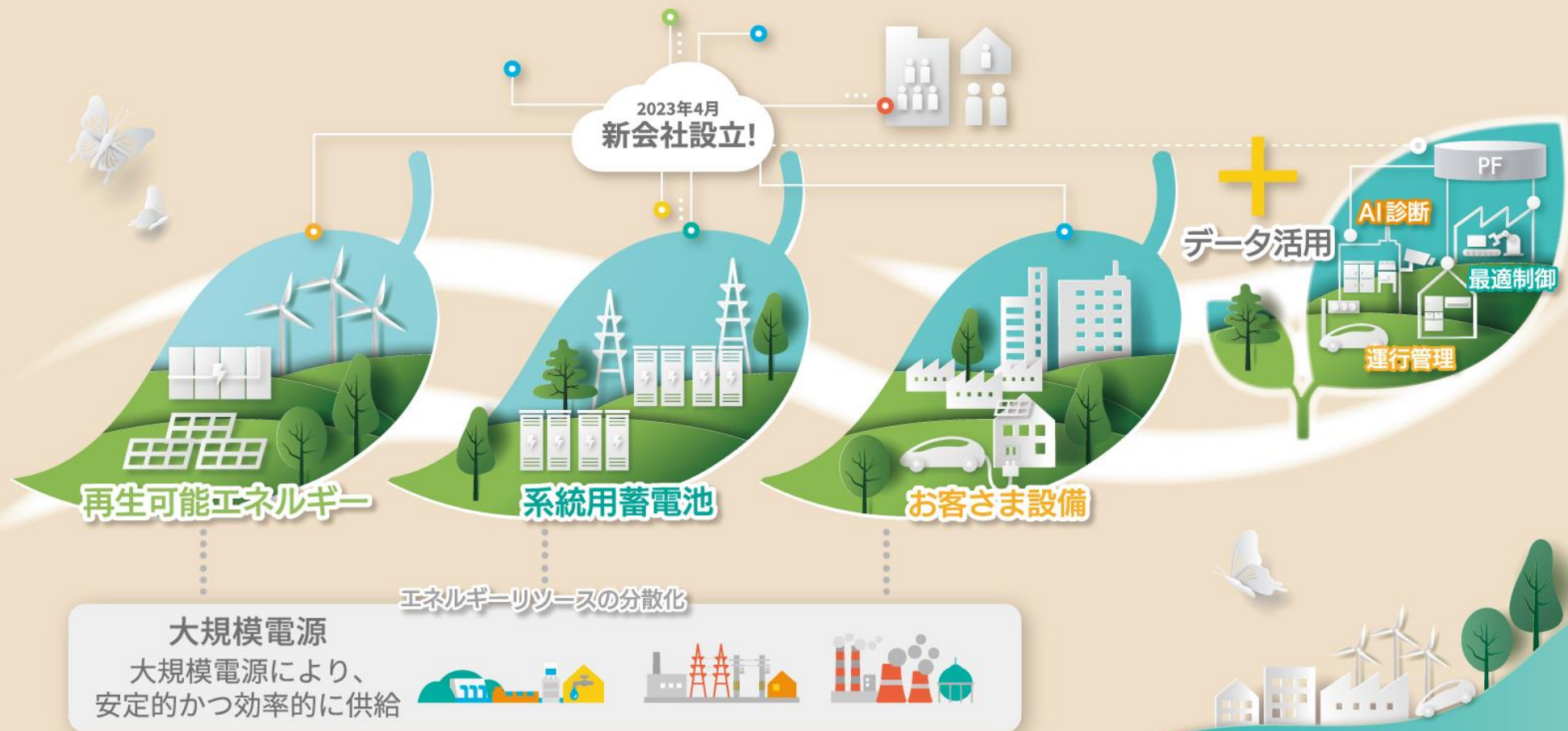
E-Flow

2023年4月、 VPPは新しいステージへ。

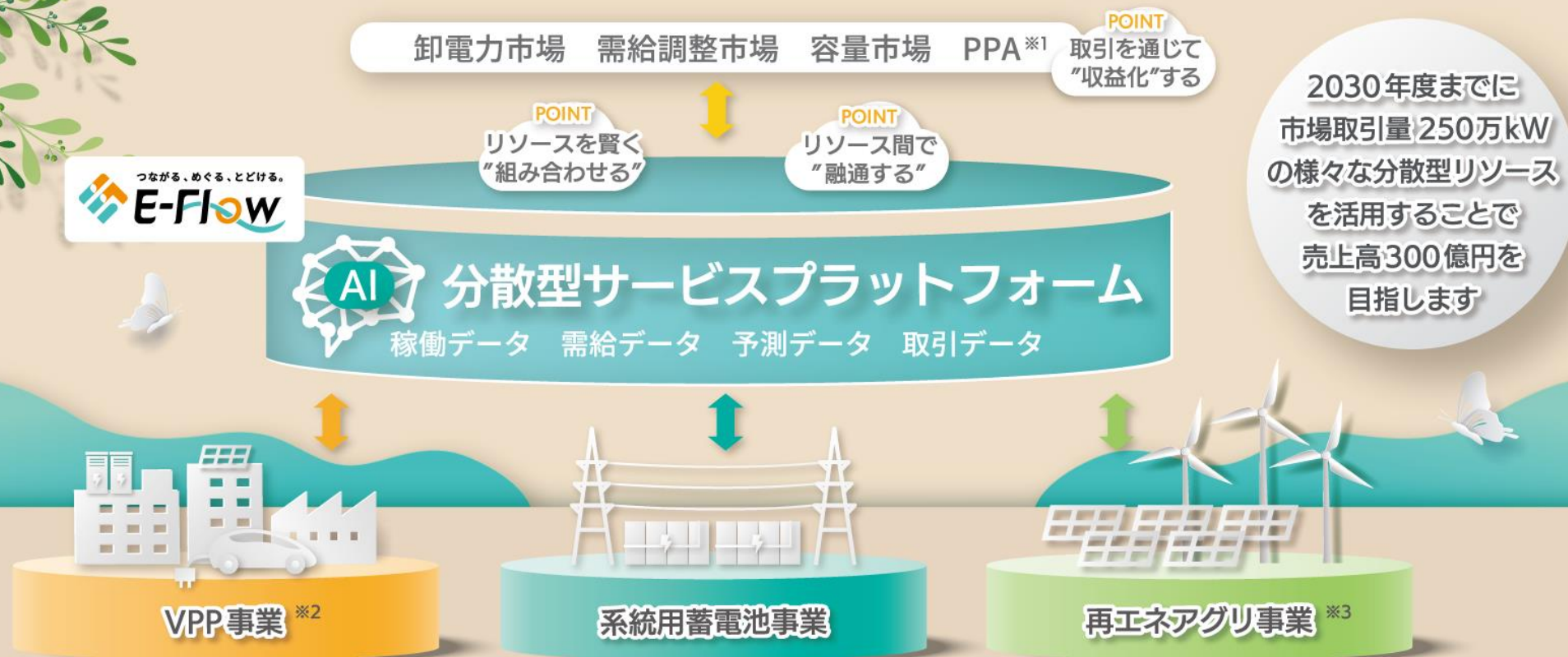
エネルギーリソースやインフラの
分散化・提供サービスの多様化が進み、
それが双方向につながっていく、未来の社会。
私たちはこうした未来の社会において、
分散化する様々なリソースを“つなぎ”、“めぐらせ”、
必要とする誰かへ”とどける”
役割を果たすため、新会社を設立いたします。



E-Flow は様々な分散型リソースを双方向につなげ、エネルギーを必要な場所にとどけるサービス基盤となり、従来の電気事業の枠を超えた新たな価値をお客さまとともに創造します。



E-Flowは全国に広がる様々な分散型リソースから得られる電気価値の活用に特化した日本初の会社。
分散型サービスプラットフォームを通じ、ゼロカーボンや電力需給の安定化に貢献します。



※1 PPA… Power Purchase Agreement の略称 ※2 VPP… Virtual Power Plant の略称 ※3 再生エナグリ… 再生可能エネルギーアグリゲーションの略称

VPP事業

VPP

お客さまが保有する様々な分散型
リソースを束ね、電力量や供給力、
調整力を市場で取引します。

リソースの特性に応じた 市場取引による収益化



系統用 蓄電池事業

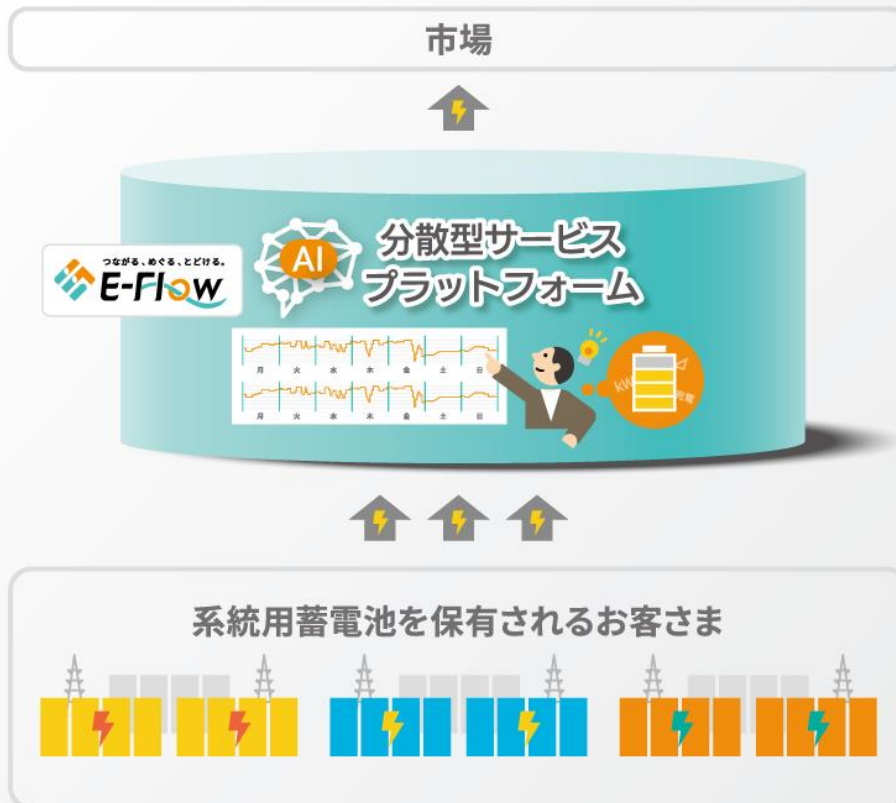


BESS※

お客さまが保有する系統用蓄電池
の日々の市場入札・計画提出等を
代行します。

※BESS… Battery Energy Storage System の略称

取引ノウハウを反映した AIによる効果的な取引



再エネアグリ 事業



RE※

お客さまが保有する再エネ発電設備の日々の市場入札・計画提出等を代行します。

※RE…Renewable Energyの略称

再エネ発電設備の インバランスクを低減

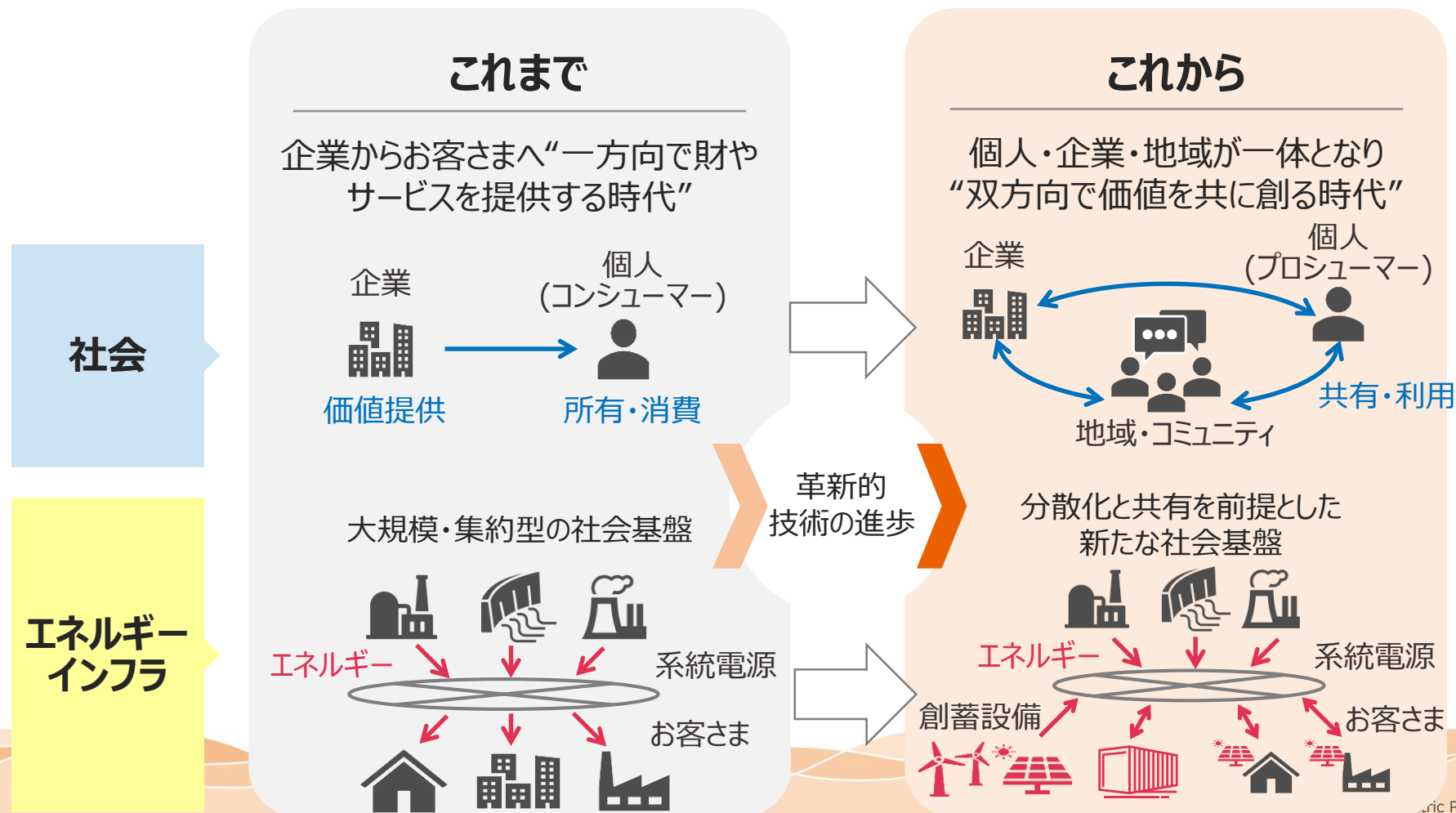


Kanden Value Transformation (VX)

～エネルギーが拓くバリュー・トランスフォーメーション～

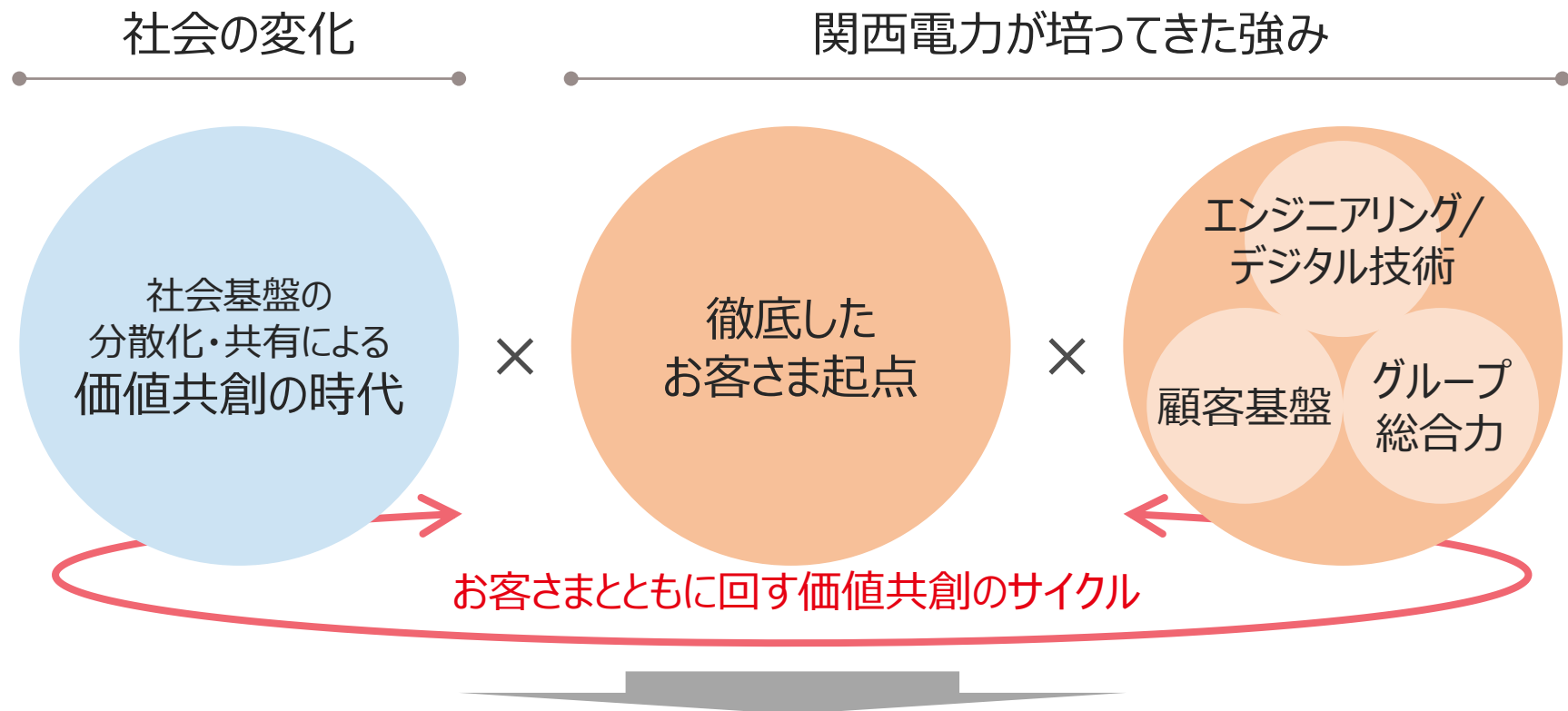
～お客さまと企業がともに寄り添い・ともに価値を創る“共創の時代”に～

○皆さまの暮らしを支える社会基盤が大きく変化することで、様々な機能や資源の分散化が進み、個人と企業と地域がともに寄り添い・ともに価値を創る“共創の時代”に。



～徹底したお客さま起点に立ち、“サービス・プロバイダー”へ～

○お客さまとともに価値を創る共創の時代において、創業以来育んできた徹底したお客さま起点を基盤に、グループ総力を結集して新たなソリューションの開発を加速します。



エネルギー・プロバイダーからサービス・プロバイダーへ

～非エネルギー領域も含めた“新しい価値の創造”～

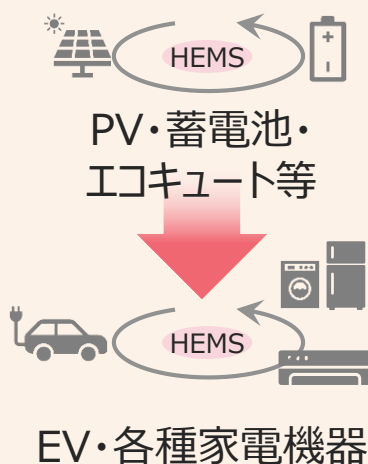
○関西電力は、分散型サービスプラットフォームを通じて、個人・企業・地域に分散化された様々な資源（リソース）を最適に活用し、非エネルギー領域も含めた新しい価値の創造を目指します。



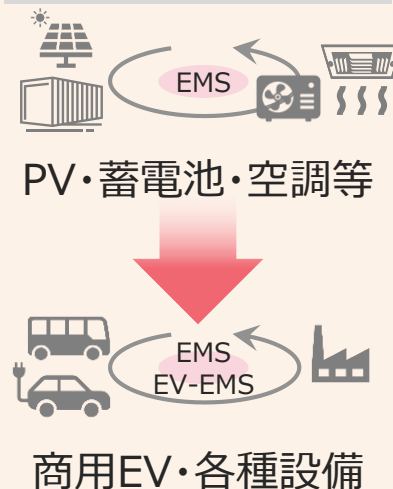
エネルギー領域

非エネルギー領域

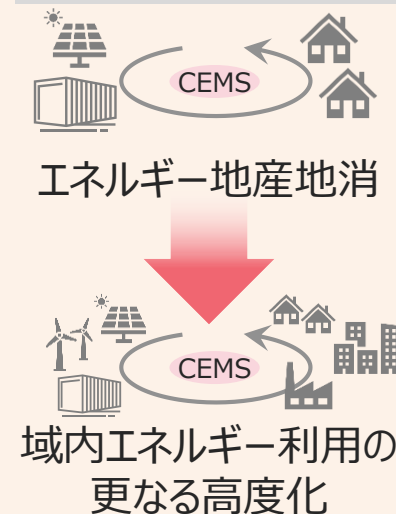
個人



企業(法人・モビリティ)



地域



価値提供領域を拡大



新たな価値の創造

活用リソースの拡大

～エネルギーが拓く“バリュー・トランスフォーメーション（VX）”～

○法人のお客さまには、複数地点のリソース制御が可能なEMSサービス「SenaSon」や、E-Flowとの連携による市場取引型の新たなDRサービスを提供していきます。

個別地点への機器導入・制御



- 太陽光・蓄電池オンサイト等の機器導入支援
- 空調最適運用マネジメント（おまかSave-Air）
- EV最適充放電や環境メニューによるゼロカーボン促進

複数リソース・地点の最適制御

（SenaSon のサービス提供開始）



- 複数地点における複数リソースの制御が可能なEMS「SenaSon」によるリソース群の最適運用

構想検討中

市場との連携

（「E-Flow」・「SenaSon」との連携）

- 「E-Flow」を活用した市場取引型のDRサービス

～エネルギーが拓く“バリュー・トランスフォーメーション（VX）”～

○モビリティ領域では、商用車のEV化支援サービスやワイヤレス給電等の充電インフラの整備、将来的には街全体のモビリティ運行とエネルギー供給の効率化を目指します。

EV導入支援



- EV・充電設備リース等のEV導入支援
- EV車両・充電器・エネルギーマネジメントシステム・工事施工管理のパッケージ提供（EVバスパッケージ）

EV運行基盤の整備



- 事業所等への充電インフラ整備の推進
- EV・電動船・空飛ぶクルマ向けの新たな給電技術の開発
- 地域交通のデマンド化やEV化による社会課題の解決

構想検討中

スマートモビリティ社会の実現

（エネルギーとモビリティの融合）



- EVが大量導入された街全体のエネルギー供給とモビリティ運行の効率化・脱炭素化を実現する交通基盤の整備・運営